



加茂でがんばる素敵な商売人 (AKINDO) をご紹介します!



今回の AKINDO
BASE LINE
(ベースライン)
店主 原田 崇さん

昨年4月に穀町商店街にオープンした古着ショップ「BASELINE」の原田さんにお話を伺いました。

— 加茂市では珍しい店ですが、古着屋を始めたきっかけは？

原田さん：私は高校を卒業した後、三条市の金物卸の会社で営業として働いていました。昔から古着が大好きでしたが、その頃、たまたま長岡のセレクトショップの求人募集を見つけて、この世界に飛び込んだんです。ほかにも音楽やバイク、映画なんかに興味があって、映画に出演しているアメリカの俳優さんのファッションに憧れて真似してみたと思うようになったのが、古着を好きになったきっかけです。



— 今は好きなものに囲まれているわけですね！

原田さん：そうですね。学生の頃はアルバイトで貯めたお金を持って古着屋に通っていました。あの頃は早く社会人になって、もっと古着を買いたい！と思っていただけです。実際に社会人になってみると、お給料が安くて、あまり買えませんでしたがどね(笑)。

— 三条出身の原田さんが加茂にお店を開いたのはなぜですか？

原田さん：前の店では16年間勤めていましたが、いつか自分の店を持ちたいという夢はずっとありました。実は、母の実家が加茂市にあつたので、小さい頃は加茂川や加茂山でよく遊んでいました。その頃から加茂の雰囲気が好きで、それで出店を決めました。

— 最近の古着ブーム！その魅力は何だと思いますか？

原田さん：古着の魅力はなんといっても、ほとんどの服が一点ものということだと思います。今は古着の中でも、特に「インポート古着」といわれる海外から輸入した古着

が人気です。日本ではなかなか見ることもないデザインとか色使いが魅力。外出先で、自分と全く同じ服を着ている人がいたなんて経験をした方もいらっしゃると思います。古着は誰かとデザインが『かぶってしまっ』ということが、ほとんどのないので、個性的なファッションをしたい方には特にオススメです。

— カッコイイ服がたくさん並んでいます、BASELINEのこだわりは？

原田さん：商品は今までに知り合った関東のバイヤーさんを中心に仕入れていて、多い時には1回で200〜300着くらい仕入れることもできるだけ、他の店には置いていないような服を見

つけて仕入れるように心掛けていますね。掘り出し物に出会うと思わずにファッションがアガリますがそんな商品がすぐに売れた時は、うれしい反面、ちょっと寂しさも(笑)。自分で着たいなあって思った時期もありましたけど、今はお客様に喜んでもらう方が嬉しいです。古着ファンを1人増やしたぞ！って。

— とここで、店名の由来を教えてください。



— ありがとうございます！これからも多くの方に古着の魅力を広めていってください！

BASE LINE
(ベースライン)
住所: 加茂市穀町1-3
TEL: 050-8885-7551
営業: 平日 12時~19時
 土日、祝日 11時~19時
定休日: 毎週水曜日
 不定期で木曜日と連休
(祝日の場合、翌日木曜日)